



愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

目次:

年頭挨拶詳細	2
称号授与	3
名誉教授の授与	4
吹奏学部演奏会	5
市美術展入賞等	6
設置校入試概況	7
栄光の軌跡	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒470-0392  
豊田市八草町八千草1247  
TEL (0565) 48-8177

# 理事長、大学学長が学園、大学発展のため教職員一丸の協力呼びかける

## 恒例の年頭あいさつで厳しい状況見据えて

学園、愛工大の平成二十一年仕事始め式は一月七日、愛知県豊田市八草町の愛工大八草キャンパス第2本部棟内で行われました。後藤淳理事長、後藤泰之学長は恒例の年頭あいさつで、世界同時不況に加え少子化など学園、各設置校を取り巻く状況は厳しいと述べ、学園、本年開学五十周年を迎える大学ほか各設置校の発展のため、教職員の一層の協力を呼びかけました。同日は愛工大情報電子専門学校、一月六日は愛工大名電高校・附属中学校でも行われ、教職員は気持ちを新たにしていきました。



学園、大学の教職員を前に年頭のあいさつを行う後藤淳理事長

第2本部棟五階会議室で開かれた仕事始め式で後藤淳理事長は学園、大学教職員を前に、今年大開学五十周年、三年後に学園創立百周年を迎えるが、少子化に昨年末のアメリカの金融危機に端を発した世界同時不況も重なって学園を取り巻く状況は、一段と厳しいとの見通しを述べました。そのうえで、学園も組織、制度等で見直すべき

もの見直すとして、学園発展のため教職員一丸となり協力してほしい、と呼びかけました。続いてあいさつに立った後藤泰之学長は、開学五十周年を迎え、昨秋全学挙げて取り組んだ劇場用映画「築城せよ！」製作（六月名古屋等で公開）のほか、各記念事業を予定しており、この大きな節目の年を教職員と力を合わせ、盛り上げて

## 後藤鉀二賞 — 科学技術振興の貢献等で加藤厚生愛工大教授に —

教育や科学技術、スポーツの振興などを通して学園の発展に寄与した人に贈られる平成20年度「後藤鉀二賞」に愛工大機械学科教授の加藤厚生氏（70）が選ばれました。加藤教授はイモムシロボットの開発、製作を通して学生に「ものづくり」の楽しさを教え、平成17年の愛・地球博で実演、展示し話題を呼びました。また、早くからバイオメカニズムに着目し同学会創設に尽力、平成16年から2年間、学会会長を務め学園の教育、科学技術の振興に貢献しました。



後藤鉀二賞の加藤厚生教授（前列右から3人目）と後藤淳理事長（同4人目）を囲んでの記念撮影

授賞式は1月22日、本部棟内で行なわれ後藤鉀二前理事長の遺影に黙祷した後、後藤淳理事長が加藤教授の功績を称え、賞状と記念品を贈りました。それに対し、加藤教授が「学園最高の栄誉である後藤鉀二賞を受けることができ感謝しています」とお礼を述べました。記念撮影の後、食事をしながら歓談しました。加藤教授は昭和37年に本学電気工学科を卒業し、44年から現在まで本学講師、助教授、教授として勤務。その間、工学部長のほか愛工大初代同窓会長も務めました。

いこう、と述べました。また、四月から工学部、経営学部、情報科学部の三学部体制となり、平成二十二年に名古屋市・自由ヶ丘に経営学部の新キャンパスが開設されるの

を受けて、その円滑な運営の方策等を早急に検討していくとの考えを、明らかにしました。  
（理事長、学長の「年頭あいさつ」の詳細は2面に）



理事長「学園発展に教職員一丸となり協力を」  
学 長「力を合わせ開学記念を盛り上げよう」



愛知工業大学学長  
後藤 泰之

あけましておめでとうございます。今年、開学五十年という記念の年を迎えます。記念事業の各取り組みが四月以降、行われます。その中のメインとして映画（「築城せよ！」）があります。学生にいつか、生きた「ものづくり教育」の場を提供したいという強い思いがあり、映画の製作で実現しました。

昨年九月に撮影が始まり、十月いっぱいまで終わりました。大勢の学生たちが映画製作の裏方、また、俳優として参加しました。（映画は今年六月に公開と聞いており、今から楽しみにしています。それ以外にも、記念事業としていろいろな社会連携事業、キャンペーン整備等を予定しており、十一月には記念式典の年を皆さんと力を合わせ、盛り上げていきたいと思えます。さて、私立大学を取り巻く状況が厳しい

名古屋電気学園理事長  
後藤 淳

あけましておめでとうございます。今年もいいお天気に恵まれ、厳しい中にも清々しいお正月を迎えることができました。夏のお思えば、昨年は大変な年でした。夏の北京オリンピック大会まで、（景気は）順調な時もありましたが、その後、アメリカで起きた金融危機が世界に波及し、同時不況となりました。とくに、（モノを）生産して輸出する日本は、円高も加わり、大変な苦境に陥っています。今年は一刻も早く、そういう状況から抜け出してほしい、と願っています。学園は今年、大学が開学五十年、三年後に名古屋電気学園も創立百周年を迎えます。（学園は）これまで、その時代、時代の要請に応え、社会に出て役に立つ人材の育成を創立以来のモットーに、社会の発展に合わせ愛知工業大学、

年頭あいさつ詳細

ことは、皆さん十分にご承知と思います。今、私大の半数以上が、定員割れを起こしているような状況で、昨年後半からの大変な不況もあり、ますます厳しい状況にあります。また、新入生の学力二極化はいつそう進み、学生をある程度のレベルまで教育し、社会に役立つ人材として送り出すために、大学としては「教育力」が一段と重要になってきます。

愛工大名電高校、愛工大附属中学校、愛工大情報電子専門学校を順次設置し、教育環境の整備、組織の充実、教育・研究の向上に鋭意努力してきました。しかし、現在は、少子化に加えて、今回の世界同時不況の様なさまざまな経済的な問題等も重なり、いつまでも右肩上がり期待できないという状況です。そういう中で、今後名古屋電気学園の発展を目指していくために、教職員の一層のご協力をお願いする次第です。また、学園として今年も組織制度等で見直すべきものは見直しながら、新しい気持ちをもって学園発展のため取り組んでいきます。

学園人事等

◆事務組織の新設  
平成二十年十月一日付、大学に戦略的連携支援事業実施のため、「戦略的連携支援室」を新設。

◆人事  
【新規採用】（二月一日）  
工学部機械学科教授  
（大学）  
谷本 隆一

【新規委嘱】（二月一日）  
（大学）  
戦略的連携支援室連携コーディネーター（嘱託職員）  
若山 茂

【兼務】（平成二十年十月一日）  
（大学）  
戦略的連携支援室長  
工学部都市環境学科教授・学長補佐 曾我部博之  
戦略的連携支援室員  
大学事務局学務課長・助教  
課長 井沢 清人  
戦略的連携支援室員  
大学事務局助教課係長・学務課係長 加藤 聡  
戦略的連携支援室員  
大学事務局学務課事務職員  
三輪 瑞樹  
戦略的連携支援室員  
大学事務局学務課事務職員  
竹中 雅哉  
戦略的連携支援室員  
大学事務局助教課事務職員  
・学務課事務職員  
塚本 真弓

理事長に中日友好使者の称号授与

後藤淳理事長は昨年十一月十四日、中国・北京で中日友好協会（宋健会長）から長年にわたり両国の友好親善に多大な貢献をしたとして「中日友好使者」の称号を授与されました。



中日友好使者荣誉证书を王后にする後藤理事長と王效賢中日友好協会副会長

「中日友好使者」の称号は、後藤淳理事長が両国のスポーツ交流事業の推進、また、日中友好事業の発展に尽くした功績に対して贈られました。同日から北京市の中日友好協会友誼館で開かれた「日中平和友好条約締結30周年記念ピンポン外交日中友好写真展」開幕式で、王效賢中日友好協会副会長から理事長に「中日友好使者」の荣誉証書と記念メダルが贈られました。あいさつに立った理事長は「今後も各分野での日中交流を深めていきたい」と話しました。

「ピンポン外交日中友好写真展」は、中日友好協会、中国卓球協会、愛知県日中友好協会、在名古屋中国総領事館が、日中平和友好条約締結三十年を記念して、若者らに日中間交流の歴史を知ってもらおうと開催しました。一九七一年（昭和四十六年）、当時、日本卓球協会会長で学園理事長・学長の故後藤鉦二先生が名古屋市で行われた第三十一回世界卓球選手権大会に中国卓球選手団を招き、日米そして日中国交正常化実現の基礎を整えました。これが「ピンポン外交」と呼ばれるものです。



前中国国務委員の唐氏と和やかに歓談する後藤淳理事長

界卓球選手権大会のポスター、メダルの資料が展示されました。会場には大会に関わった日中関係者のほか、中国の大学生らが訪れ、熱心に見ていました。この後、理事長は釣魚台国賓館万柳堂で駐日公使、外相も務めた知日派の前中国国務委員の唐家氏と会い、旧交を温めました。唐氏は、日本にいた時に愛工大や理事長宅で温かい歓迎を受けたことなどを話題に、和やかに歓談しました。理事長は今回、中日友好協会の招きで十一月十三日〜十七日まで、訪中しました。

理事長賞



学園は1月8日、入倉孝次郎愛工大地域防災研究センター客員教授を理事長表彰しました。今回の理事長賞は、入倉客員教授が強震動地震学の第一人者として長年にわたり優れた業績を挙げ、また、昨年、防災体制の整備に果たした功績で「安全功労者」及び「防災功労者」の2つの内閣総理大臣表彰を受賞した功績に対して、贈られました。

授与式は本部棟内の理事長室で行われ、後藤淳理事長が賞状と記念品を入倉客員教授に手渡しました。この後、後藤泰之学長、稲垣慎二、小嶋憲三両副学長ら大学幹部を交えて、入倉客員教授の研究テーマである地震など織り交ぜながら、歓談しました。

入倉客員教授は京都大学副学長などを経て、平成17年10月から愛工大地域防災研究センターの客員教授を務めています。

(写真は、理事長賞を受けた入倉孝次郎愛工大地域防災研究センター客員教授)

新入生に緊急支援策―前期学納金を免除

愛工大は一月二十二日、経済情勢の悪化で進学が困難となった新年度入学生に対し、年度前期学納金（入学金を除く授業料など）を免除する緊急支援策を発表しました。

昨年秋以降の急激な景気後退に伴う経済的理由で、入学が困難となった入学合格者が対象。保護者の離職、所得状況を証明できる書類、面接等で決めることにしています。

対象は工学、経営、情報科学の三学部合わせて三十人ほど。金額は五十四万〜六十二万五千元です。本学には、概に前期日程入試の合格者を対象にした選抜奨学金制度等があります。

名誉教授

元副学長を務めた  
驚見哲雄、伊  
澤康司の両氏に

学園は昨年十二月八日、元副学長を務めた驚見哲雄、伊澤康司の両氏に名誉教授の称号を授与しました。



驚見氏は、一九七八年十月に愛工大工学部教授に就任、学生部長、副学長など歴任、二〇〇八年四月から客員教授兼大学顧問、二〇〇一年に後藤鉦二賞を受賞しました。伊澤氏は、一九八五年四月に愛工大工学部教授に就任、副学長も務め二〇〇二年四月から客員教

授。一九九七年に後藤鉦二賞を受賞しました。

授与式は本部棟内で行われ、後藤淳理事長が驚見、伊澤の両氏に名誉教授証を授与しました。後藤泰之学長が、「おめでとうございます。今後ともご指導よろしくお願います」と祝辞を述べました。稲垣慎二、小嶋憲三両副学長ら学園、大学幹部を交えて記念写真を撮った後、両氏を囲んで歓談し、名誉教授授与を祝福しました。

【写真】は、後藤淳理事長（手前右から4人目）と名誉教授の驚見氏（同3人目）、伊澤氏（同5人目）を囲んでの記念写真

大工愛和明愛工大地  
学大初ベ正木和明愛工大地  
ンチャー企業城防災研究センター  
年、「(株)エーアイシステムサー  
ビス」を設立。地域防災コンソー  
シアムの研究から生まれた「企業防  
システム」の情報配信、維持管理  
を受け継ぎ、主に気象庁の緊急地  
震速報を受け予想地点のジャスト  
ポイント情報を解析した正確な予  
想震度、猶予時間を企業などに配  
信します。

各設置校  
トピックス

緊急地震速報を活用した大規模な避難訓練が昨年十二月十一日、大学を中心に名古屋電気学園の各設置校も参加し、行われました。放送を合図に授業中の学生、生徒らは机の下にもぐり込み、その後、校舎から避難場所へ避難と、本番さながらに訓練が繰り広げられました。

東海・東南海連動地震に備えて

今回で三回目となる訓練は、「紀伊半島沖で東海・東南海連動型地震が発生。規模はマグニチュード8.3で、八草キャンパス付近の予測震度は



5弱」との想定で、愛工大、情報電子専門学校、名電高校、附属中学校で同時に行われました。愛工大では「地震がき

大学中心に学園挙げて避難訓練

ます」の放送が流れると、授業中の教室で学生が教員の指示で机の下に退避しました。揺れが収まったところで校舎から外へ出て、避難場所に指定されているサッカー場へ次々に避難しました。

避難場所では、昨年からの導入した学生証のバーコード読み取りを含む安否確認が行われました。

この後、後藤泰之学長が訓練に参加した学生ら約三千人を前に「訓練は、スムーズにできました。今回の訓練を検証しました」と講評しました。

情報電子専門学校、名電高校、附属中学校でも地域防災研究センターか



らの放送を受け、学生、生徒が机の下に一斉に退避。この後、専門学校と中学校では、近くの公園などに避難しました。いずれもトラブルはな

【写真説明】

①は、校舎から、避難場所になっっているサッカー場へ向かう学生、教職員らの放送で一斉に机の下に入る学生。いずれも愛工大八草キャンパスで



**大学がスペインの大学と  
学術、学生交流協定結ぶ**

スペイン・カタロニア工科大学（UPC）と学術交流、学生交流の両協定を結びました。UPCから学術、学生交流協定を結びたいとの申し入れがあり、昨年十月から両大で話し合いを続けてきました。

**学生総数3万4千余人を擁するカタロニア工科大学と**

十一月二十六日、UPCでアントニ・ジロ・ロツカUPC学長が、榎田玄一郎国際交流室長（学長補佐、機械学科教授）の持参した後藤泰之愛工大学長の署名済み協定書に署名しました。

UPCは、スペイン北東部のカタルーニャ州内にあり、院生を含む学生総数は三万四千七百人にのぼるそうです。今回の

特長は、学術交流のほか双方の学生二人を最大一年間受け入れ、大学で授業料を納付していれば留学先の授業料納付を免除する—という学生交流協定を結んだ点です。

UPCからは昨年十月にサラ・ケイコ・ムラセ・フェルナンデスさんが半年間の予定で来日し、手嶋紀雄応用化学科准教授から「流れ分析の手法を使ったホルムアルデヒドの定量」をテーマとした論文の指導を受けています。

今回、榎田国際交流室長と高井一彦国際交流室

課長補佐がUPCを訪問し、協定書交換に立ち会った後、欧州最大を誇る同大のスーパーコンピュータ施設などを視察しました。海外の大学との姉妹校を含む学術交流協定校は、これで十二大学になりました。

【写真は、ロツカUPC学長と握手をする榎田国際交流室長とUPC学長館で】

**国際交流コンサート**

**演奏、交流に頑張る名電高吹奏楽部**

◎：シンガポールの高校、女子中学校吹奏楽部との国際交流コンサートが昨年十二月七日、講堂兼体育館・喬徳館で開かれ、交流と友情を深めました。

吹奏楽部が三年前、シンガポール芸術協会の招きでメリディアン高校などで演奏会を開いたのがきっかけで、吹奏楽を通じた両校の交流



メリディアン高の演奏を楽しむ市民ら

が始まりました。今年七月に吹奏楽部がシンガポールの合同演奏会を行ったの

に続き、今回、メリディアン高とシダー女子中学校が、シンガポールの吹奏楽コンサートで優勝、プレゼントされた日本旅行を利用して来校しました。

一行は、吹奏楽部のOB、OGも含め総勢百六十人。コンサートではシダー女子中吹奏楽部をトップにメリディアン高、名電高の順で演奏。最後に三校総勢百八十人による合同演奏で締めくくりました。

この日は普段、名電高がお世話になっている地元の人たちを招待しての演奏会で、お年寄りから子どもまで大勢の市民に喜んでいただけました。

**第44回定期演奏会**

◎：第四十四回定期演奏会が一月十一日、名古屋市熱田区の名古屋国際会議場・白鳥センチュリーホールで昼の部、夜の部の二回行われ、満員の聴衆を魅了しました。昼の部の演奏に先立ち、後藤淳理事長が「皆様の応援に支えられ、吹奏楽部は全国レベルにまで成長しました。今後とも応援よろしく願います」と、あいさつしました。

この後、伊藤宏樹、小林知広両教諭の指揮で、部員が「バレエ組曲・火の鳥より」、「崖の上のポニョ」などクラシックからピュラーまで華麗に演奏し、日ごろの練習の成果を披露しました。その合間に迫力満点のステージドリルも行い、演奏会を盛り上げました。

夜の部は、佐藤忍校長があいさつしました。吹奏楽部は、全国大会常連校として知られ、シンガポール演奏会など、国内外で幅広く演奏活動を行っています。



華麗な演奏を披露する名電高吹奏楽部

情報電子専門学校

豊田市美術展で市議会議長賞等受賞

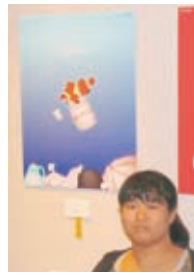
情報工学科コンピュータグラフィックスコース一年生の三人が、第四十六回豊田市民美術展（昨年十一月十五日〜二十三日、豊田市民文化会館・市美術館）のグラフィックデザイン部門で、豊田市議会議長賞などを受賞しました。



ヤング賞  
市川元成君



優秀賞  
山本歩輝君



市議会議長賞  
伊藤菜摘さん

三人は、伊藤菜摘さん（市議会議長賞）、山本歩輝君（優秀賞）、市川元成君（ヤング賞）。美術展最終日の二十三日、市美術館講堂で表彰されました。コンピュータグラフィ

ックスコースでは、市美術展出展を授業の一環として取り上げ、学生に作品を制作させてグラフィックデザイン部門に応募させています。

今年も全員が応募し、三人が入賞を果たしました。このうち、市議会議長賞に輝いた伊藤さんの「水質汚染」は、青い海でマスクをした赤い魚がゴミを拾い集めているイラストを通して、水質汚染問題を考えさせる作品に仕上げ、審査員からも高い評価を得ました。

知財セミナー

中部経済産業局の「知財セミナー」が一月十九日、307教室で開かれました。デザイン等で関わりの深い知的財産について勉強してもらおうと、昨年十一月



学生にデザインと知的財産の関わりなどを説明する有田行男氏

から愛知など東海三県と石川、富山県内のデザイン関連を教えている大学や専門学校で開いてきて

おり、本学が最終のセミナーとなりました。講師は、NEC商品企画部マネージャーで法政大学非常勤講師の有田行男氏。コンピュタグラフィックスコースの一、二年生、教職員約三十人が受講。有田氏は、デザインと知的財産の関係などを説明した後、NECで携わっている携帯電話の開発を例に、知的財産に含まれる特許権、意匠権等の産業財産権、著作権を分かりやすく、話しました。学生らは、講師に質問するなど熱心に話に聞き入っていました。

附属中学校

一年生九十九人が昨年十二月十八日〜二十日まで、長野県・志賀高原で開かれたスキー合宿に参加しました。

一日目は、スキーウェアとブーツに不慣れとあって、思うように体を動かせなかった生徒もいました。次の日から、生徒の向上心とインストラクターの熱心な指導もあり、腕を上げていききました。最終日の検定試



験では、ゲレンデに思い思いのシユプールを描けるまでに上達しま

した。「すっかりスキーの魅力にとりつかれました」と話す生徒も多く、一人のけが人もなく、充実した三日間のスキー合宿を終えました。【写真は、インストラクターからスキーの指導を受ける生徒ら】

中高一貫コースの中学三年生・日下大貴君が二月七、八日の両日、愛工大八草キャンパスで開かれた「ロボカップジュニア2009愛工大大会」のレスキューチャレンジ（十五歳〜十九歳以下）で



ロボカップ大会

優勝し、東海大会の出場権を得ました。同競技は、ロボットがゴールまでのルートを走行しその間、被災者に見立てた紙人形を時間内に、どれだけ見つけられるかなどを競います。

### 愛工大前期日程入試など各設置校で入試実施—受験生の出足、好調

#### 愛工大

前期日程一般入試志願者、昨年を上回る

一月二十八日—三十一日までの四日間、志願者数で昨年を上回った前期日程A方式、M方式の各一般入試が豊田市八草町の八草キャンパスほか、福岡、浜松など全国の試験会場で行われました。受験者の一番多かった二日目の二十九日、八草キ



張りつめた空気に包まれた愛工大前期日程A方式2日目の八草キャンパス内の試験会場

学園設置校の愛工大、愛工大情報電子専門学校、愛工大名電高校、愛工大附属中学校で平成二十一年度入試が順次行われていきます。予備校も借りて実施の高校ほか各校の受験状況は好調です。

キャンパスには緊張した面持ちの受験生が、次々と試験会場の10号館に詰めかけました。注意事項を聞いた後、午前十時から数学を皮切りに、各試験問題に取り組んでいました。合格発表は、いずれも二月九日に行われ、合格者に合格通知書が郵送されました。後期日程M方式の一般入試は、二月二十七日に愛工大と岐阜、四日市、津、浜松、富山の各試験会場で行われました。

#### 名電高校

講堂・体育館も試験場に一般入試

推薦入試が一月二十八日、県内私立高校で一斉に行われ、名電高でも受験生が各教室に分かれ、国語などの学科と面接試験に挑んでいました。合格者発表は二十九日になりました。受験生の殺到した一般入試は二月四日、同校のほか河合塾千種校で行われ、受験生は正門前で進学塾関係者の激励を受けて、試験に臨みました。講堂兼体育館の喬徳館も試験会場になり、広い館内に机やイスがずらりと並べられ、その中で大勢の受験生が試験問題に取り組んでいました。二月七日に合格者発表がありました。推薦、一般入試を合わせた受験者

#### 附属中学校

県内私立中の先陣切りの奨学生入試

奨学生入試が一月二十四日、県内中学校のトップを切り行われました。続く二十五日の第一回一般入試を合わせた受験者総数は、昨年を大きく上



2月4日の一般入試で試験会場の一つ、講堂兼体育館の喬徳館内を埋めた受験生

回る六百二十三人にのぼりました。二十四日は早朝から、小学生が保護者と入試会場の愛工大名電高校に入りました。試験会場にあってられた各教室で、試験監督の附中教諭から注意事項や持ち物のチェックを受けた後、最初の国語の試験問題に鉛筆を走らせていました。可否の通知は一月二十七日ごろに郵送されました。また、第二回一般入試は、二月七日に行われました。

#### AITサイエンス大賞

昨年十一月、愛工大八草キャンパスで開かれた高校生対象の第七回AITサイエンス大賞に愛知、岐阜、三重、静岡の四県から自然科学部門に十六校二十チーム、ものづくり部門に十二校十四チームの応募がありました。審査の結果、優秀賞に「自然科学部門」で四日市西(三重)多治見北(岐阜)一宮(愛知)、「ものづくり部門」で岡崎工、愛工大名電、春日井工(いずれも愛知)の各高校が選ばれました。

愛工大陸上競技部

# 走

## 東海学生駅伝対校選手権大会で3連覇

第七十回東海学生駅伝対校選手権大会が昨年十二月七日、愛知県武豊町から知多半島南端を回って半田市までの七区間64・5キロのコースで行われ、愛工大Aが三年連続八度



胴上げされるアンカーの金谷選手

# 栄光の軌跡

目の優勝に輝きました。大会には愛知、岐阜、三重、静岡の四県から二十一チームが参加。1区で転倒のトラブルがあったが、2区でトップに立ち、そのままアンカーの金谷将史選手(情報科学科三年)が2位に1分以上の差をつけ、ゴールテープを切りました。今回の優勝で、今年秋に島根県出雲市で行われる第二十一回出雲全日本大学選抜駅伝の出場権を得ました。

四大学が参加して行われ、競技スキー部が男子の部で総合優勝し、十二連覇を達成しました。

# 滑

## 中部日本学生選手権・男子の部で12連覇達成

スキーの第五十四回中部日本学生選手権が一月二十四、二十五日の両日、長野県・白馬村の岩岳スキー場で愛工大を含む十

愛工大競技スキー部



男子スーパー大回転で初優勝した久保田選手

初日の二十四日に男子

# 突

## 世界ジュニア・カデ・フェンシング大会に出場

名電高フェンシング部

・スーパード回転で久保田健司選手(情報科学科三年)が53秒73で、さらに大回転で大人成人選手(経営学科一年)が50秒60でそれぞれ初優勝。リレーでも、山田圭佑選手(情報科学科二年)服部友貴選手(同四年)久保田選手(同三年)伊田直樹選手(経営学科一年)のチームが、45分24秒2で優勝しました。この結果、男子総合で2位の名城大に大差をつけて1位となり、十二連覇を果たしました。

フェンシング部の高阪一世君(普通科一年)が四月五日〜七日、イギリス・ベルファスト市で開催される世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会に日本代表選手として出場します。高阪君は一月十二日、東京・駒沢オリンピック公園

世界大会出場の名電高フェンシング部の小山内秀斗君(右)と高阪一世君



体育館で開かれた第十六回JOCジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会兼2009年世界ジュニア・カデ・フェンシング選手権大会選考会のカデ男子エペで優勝し、世界選手権大会の切符を手に入れました。日本オリンピック委員会、日本フェンシング協会がジュニア強化と将来オリンピック大会などで活躍できる選手の発掘、育成を目的に大会を行い、世界大会に派遣しています。また、同部の小山内秀斗君(同三年)もジュニア男子エペで四位に入り、一月三十一日〜二月一日までスウェーデン・ヨーテボリ市で開かれたジュニア・男女エペワールドカップに日本代表で出場しました。

# 編集後記

米国に初の黒人大統領、オバマ氏が誕生しました。国内だけでなく国際舞台でどのような舵取りをするのか、注目されています。▼とりわけ、世界同時不況の引き金となった米国経済をどう立て直すかが、最重要課題といえます。▼日本は昔から「アメリカがくしゃみをすれば、肺炎を起こす」と言われており、その言葉通り自動車産業ほか各業種とも深刻な状況にあります。▼教育界にもその暗雲が、大きくのし掛かっています。愛工大では新年度入学生に対し、年度前期学納金(入学金を除く授業料など)を免除する緊急支援策を行います。▼もともと本学には各種奨学金制度が充実しており、さらに手厚い支援を行うおうということ。▼その大学は本年、開学五十周年を迎えます。▼その記念事業として製作したのが劇場用映画「築城せよ!」。六月に名古屋ほか東京など各地で公開されます。▼映画はものづくりをテーマに「日本よ元氣を出せ」と地域再生、連帯を高らかに歌い上げた、まさに今の日本を奮い起こさせるのに十分な映画といえます。(八)